

令和8年度 保護林モニタリング予定箇所

◎:要素大、○:要素有り、△:要素見込み

資料6

計画区	署	樹立年度	保護林名称	見直し実施後の保護林区分	5年の要素							備考	シカ	クマ	病虫害
					ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ				
磐城	磐城	5	阿武隈高地生物群集保護林	生物群					○			ナラ枯れ被害確認			○
磐城	磐城		木戸川コナラ希少個体群保護林	希少	○		△		○			コナラ更新不良 コナラ林からモミ林へ ナラ枯れ被害			
磐城	磐城		津島マツ遺伝資源希少個体群保護林	希少								帰還困難区域。調査方法については要検討。			
磐城	磐城		赤井岳ヒノキ遺伝資源希少個体群保護林	希少					○			ナラ枯れ・マツくい虫被害確認			○
埼玉	埼玉	5	秩父山地生物群集保護林	生物群					○		◎	下層植生にシカ食害有り 遺伝子保存林地区に剥皮被害あり	○		
神奈川	東神	5	丹沢山地生物群集保護林	生物群					○		◎	下層植生にシカ食害有り	○		
神奈川	東神		西丹沢ブナ希少個体群保護林	希少					◎		○	下層植生にシカ食害有り	○		
神奈川	東神		西丹沢モミ希少個体群保護林	希少					◎		○	下層植生にシカ食害有り	○		
神奈川	東神		箱根ヒメシャラ・ハコネコメツツジ希少個体群保護林	希少					△				○		
中越	中越	5	笠堀カモシカ希少個体群保護林	希少								カモシカの生息に植生の変化を調べるプロット調査は意味が無いため、既存の調査資料及び航空写真等を活用			

【モニタリング間隔 5年の基準】（要領第5-2）

ア：遷移の途中段階にある保護林

イ：復元を行っている保護林

ウ：保護対象の個体群の持続性に問題がある保護林

エ：保護林外部からの影響を受けている保護林

オ：鳥獣・病虫害被害及び移入種による影響が顕著にある保護林

カ：温暖化による影響が顕著にある保護林